

難病の特性を考慮した 災害時の備えについて

1. 特殊な治療薬剤を使用している方

被災直後には薬剤の調達が困難になることが予測されるため、インスリン製剤、ステロイド薬、抗パーキンソン病薬、抗けいれん薬などは1週間分準備しておきましょう。これらの薬剤は中断すると、危険な症状が出現することもあるため、注意が必要です。お薬手帳には必要な情報が記載されているため、常に携帯し活用しましょう。



2. 移動困難・摂食困難など日常生活動作が低下している方



移動困難の程度を考慮して、あらかじめ援護者や移動手段の確保をしておきましょう。避難訓練を実施して、実際の移動方法をシミュレーションしておくとい良いでしょう。また、携帯用の摂食用具の準備、栄養剤や嚥下補助剤の備蓄もしておきましょう。

3. 医療機器を使用している方

医療機器を使用している方は、災害時の備えについて保健センターの担当保健師より詳細な情報提供をしています。

必要時、各区の保健センターへご相談ください。

平常時から治療継続に必要な物資を自ら確保すること、
地域の方々と協力し助け合えるようにコミュニケーションを
とっておくことは、難病患者の皆様にとって非常に重要なことです。



一般的な防災に関する準備や知識は相模原市ホームページからご覧いただけます。

危機管理課「防災ガイドマップ」

※市内の方は冊子が全戸配布されています。



相模原市疾病対策課難病対策班

電話 042-769-8324